

# 口頭発表プログラム

## ■第1日目

3月26日(木)	第1会場	第2会場
14:00	<p>101 座長 中嶋敏彦 穂いもちの発病に及ぼす結露の影響 ○山下亨・和田美佐・新井利直（長野農事試）</p>	<p>201 座長 土佐幸雄 LICI遺伝子は非宿主抵抗反応における細胞死制御に関与している 小野澤真理子・十亀美穂・斉藤宏昌*・寺内良平*・奥野哲郎・○高野義孝（京大院農・*岩手生物工学研究センター）</p>
14:12	<p>102 ムギ類赤かび病菌およびイネいもち病菌からの共生細菌の分離 ○野口（辻本）雅子・對馬誠也（農環研）</p>	<p>202 Hyaloperonospora arabidopsisのエフェクター候補遺伝子のEST解析による同定とその機能解析 ○加藤新平****・Adriana Cabral**・Georgina Fabro***・Jaqueline Bautor*・Kee Hoon Sohn***・Jonathan D.G. Jones***・Guido Van den Ackerveken**・Jane E. Parker*（*MPIZ・**Utrecht University・***Sainsbury Laboratory・****現：信州大学）</p>
14:24	<p>103 イネ科牧草類上におけるイネいもち病菌の動態 ○荒井治喜・鈴木文彦・古場文子（九州沖縄農研）</p>	<p>203 ナンセンス変異依存mRNA分解因子はウリ類炭疽病菌の植物感染に関与している ○高橋史香・山内順子・朝倉万琴・奥田枝穂・奥野哲郎・高野義孝（京大院農）</p>
14:36	<p>104 イネ紋枯病は白未熟粒の発生増加を助長する ○宮坂 篤・中島 隆・鈴木文彦・荒井治喜・吉田めぐみ・大崎美由紀*（九州沖縄農研・*東海大農）</p>	<p>204 いもち病菌に感染したオオムギにおいて誘導される防御関連遺伝子のeQTL解析 ○犬飼 剛・増田 税（北大院農）</p>
14:48	<p>105 土壌中のイネ稲こうじ病菌の菌量と病粒発生量の関係 ○芦澤武人・高橋真実・森脇丈治・平八重一之（中央農研）</p>	<p>205 デュアルプロモーター型RNAサイレンシングベクターの高効率化と糸状菌遺伝子解析への応用 Quoc Bao Nguyen・伊藤賢司・○中屋敷均（神戸大院農）</p>
15:00	<p>106 座長 相馬 潤 各種コムギ品種・系統における登熟期間中の赤かび病かび毒蓄積様式 ○吉田めぐみ・中島隆・宮坂篤・大崎美由紀*（九州沖縄農研・*東海大農）</p>	<p>206 座長 高野義孝 糸状菌特定標的に作用する新剤探索システムの構築 ○森脇明弘・吉村巧*・阿部敬悦**・西村麻里江（生物研*（株）ケイ・アイ研究所・**東北大学未来研）</p>
15:12	<p>107 栽培体系が赤かび病菌の集団構造に与える影響解析 ○鈴木文彦・古場文子・大崎美由紀*・宮坂篤・吉田めぐみ・荒井治喜・中島 隆（九州沖縄農研・*東海大農）</p>	<p>207 ムギ類赤かび病菌の病原性と子のう殻形成の両方に関与するゲノム領域の構造 ○須賀晴久・中島 隆*・景山幸二**・百町満朗***（岐大生命セ*・九州沖縄農研**・岐大流域研セ・***岐大応生）</p>
15:24	<p>108 炭素源の違いによる赤かび病菌のTri 遺伝子発現とデオキシニバレンール産生誘導 ○川上 顕・Feng Jiao*・小泉信三**・中島隆***（中央農研*・生物研**・東北農研***九州沖縄農研）</p>	<p>208 いもち病菌における非病原力遺伝子の比較解析とその進化過程に関する考察 ○中馬いづみ・草場基章*・大窪貴子・古田純一・萬野英俊・吉田健太郎**・寺内良平**・曾根輝雄***・土佐幸雄（神戸大院農*・佐賀大農**・岩手生工研***北大院農）</p>

第3会場	第4会場
<p>301 座長 塩谷 浩 イネ黄萎病媒介虫ツマグロヨコバイの共生系と ファイトプラズマ感染に対する影響 ○渡部賢司・行弘文字・小泉蓉子・野田博明 (生物研)</p> <p>302 ニチニチソウ内で長期間維持したタマネギ萎黄 病ファイトプラズマにおける主要抗原膜タンパ ク質遺伝子の変異 ○田中 穰 (中央農研)</p> <p>303 北海道のイチゴ苗生産圃場における葉縁退緑病 の発生とその発生要因に関する一考察 ○角野晶大・成松靖*・秋村聖*・大谷徹**・鈴 木健***・植松清次**・田中穰**** (道立中央農 試・*空知農改セ・千葉農総研暖地・千葉農総 研・中央農研)</p> <p>304 カンキツグリーンング病に対するマンダリン品 種の感受性 ○岩波 徹 (農研機構 果樹研究所)</p> <p>305 グリーンング病罹病カンキツ上で育成したミカ ンキジラミの病原細菌保毒頻度に及ぼす気温の 影響 ○大藤泰雄・小堀陽一 (国際農研・熱帯島嶼)</p>	<p>401 座長 奥田 充 トウガラシ退緑斑紋ウイルスによるトマト退緑 斑紋病 (新称) ○福田充・森島正二・和氣貴光・石川成寿・富 高保弘*・津田新哉* (栃木農試・*中央農研)</p> <p>402 長野県内のアルストロメリアに発生しているウ イルス病の発生実態 ○藤永真史・小木曾秀紀・守川俊幸*・藤晋一** ・河野敏郎***・福本文良****・花田薫**** (長野 野花試・*富山農総セ園研・**秋田県立大・***日 植防研・****中央農研)</p> <p>403 長野県内のダリアに発生しているダリアモザイ クウイルス ○花田 薫・藤永真史*・大貫正俊** (中央農研 ・*長野野花試・**九沖農研)</p> <p>404 徳島県のシンビジウムから分離されたランエそ 斑紋ウイルス (OFV) の塩基配列の解析 ○近藤秀樹・野田瑞紀・広田恵介*・前田学憲** ・玉田哲男・鈴木信弘 (岡山大資生研・*徳島 農研・**日大生物資源)</p> <p>405 新種ネポウイルスの発見 ○富高保弘・宇杉富雄・安田文俊*・岡山裕志* ・津田新哉 (中央農研, *鳥取農総研園試)</p>
<p>306 座長 白川 隆 山形県で発生したセイヨウナシ新梢黒変細菌病 (仮称) ○水野明文・松浦貴之・清水慶明・上松寛・塚 本貴敬・斎藤範彦・佐藤成良・菊地繁美*・卯 月恒安**・畔上耕児*** (横浜植防・*山形県農総 研・**山形県庁・**中央農研)</p> <p>307 セイヨウナシ新梢黒変細菌病 (仮称) の病原細 菌の分類 ○松浦貴之・水野明文・塚本貴敬・清水慶明・ 上松寛・斎藤範彦・佐藤成良・菊地繁美*・卯 月恒安**・畔上耕児*** (横浜植防・*山形県農総 研・**山形県庁・***中央農研)</p> <p>308 本邦における <i>Ralstonia solanacearum</i> biovar3に よるアジサイ青枯病 (新称) の発生 ○楠元智子・松崎幸弘*・奈尾雅浩・瀧川雄一** (愛媛農林水研・愛媛防除所*・静岡大農**)</p>	<p>406 座長 眞岡哲夫 キュウリでの病徴が異なるメロン黄化えそウイ ルスの2分離株の病原性 ○石川浩一 (近中四農研)</p> <p>407 マルチプレックスRT-PCR法によるナス科及び 花き作物に発生する5種トスポウイルスの同時 検出・同定 ○桑原克也・横井直人*・大木健広**・津田新哉 ** (群馬農技セ・*秋田山本振興局・**中央農 研)</p> <p>408 RT-PCRによるキュウリモザイクウイルス1a遺 伝子の遺伝子型の簡易判別法 ○寺見文宏 (農研機構野茶研)</p>

■第1日目

3月26日(木)	第1会場	第2会場
15:36	<p>109 座長 景山幸二            ショウガ疫病の発病消長と薬剤防除および病原菌<i>Phytophthora citrophthora</i>の病原性            ○山崎睦子・矢野和孝・竹内繁治</p>	<p>209            ゲノム網羅的DNA多型解析によるイネいもち病菌の新規エフェクター遺伝子の単離            ○吉田健太郎・齋藤宏昌・神崎洋之・宇津志博恵・土佐幸雄*・上中弘典**・Joe Win***・Sophien Kamoun***・寺内良平(岩手生工研・*神戸大農・**鳥取大農・***TSL)</p>
15:48	<p>110            ハナショウブに発生した疫病菌による黄化腐敗症状            ○雨宮良幹・五十嵐拓磨・宇佐見俊行・香取正人*・松島朋子*・久保木進*・植松清次** (千葉大院園・*水郷佐原水生植物園・**千葉農林総研暖地)</p>	<p>210 座長 池田健一            イネいもち病抵抗性遺伝子<i>Pi-a</i>の単離とその相同遺伝子の集団遺伝学的解析            ○奥山雄大・吉田健太郎・神崎洋之・齊藤宏昌・阿部陽*・藤部貴宏・Muluneh Oli・松村英生・曾根輝雄**・寺内良平(岩手生工研セ・*岩手県農研セ・**北大院農)</p>
16:00	<p>111            香川県下で発生したレタス立枯病に関与する<i>Pythium</i>属菌            ○楠 幹生・増本翔太*・東條元昭* (香川農試, *大阪府大院生環)</p>	<p>211            日本産イネいもち病菌の<i>Pita</i>保有品種に対する病原性と遺伝子変異            ○高橋真実・芦澤武人・森脇丈治・曾根輝雄*・荒井治喜**・石川浩司***・永島 進****・平八重一之(中央農研・*北大院農・**九州沖縄農研・***新潟農総研作物研・****島根農技セ)</p>
16:12	<p>112            ルリトウワタから分離された<i>Phytophthora palmivora</i>の性質と土壌からの検出法            ○安達理恵・矢野和孝・竹内繁治(高知農技セ)</p>	<p>212            突然変異によって生じたイネいもち病菌の病原性が病斑伸展に及ぼす影響            ○藤田佳克・安田伸子・石川浩司*・平八重一之(農研機構中央研・*新潟農総研作物研)</p>
16:24	<p>113 座長 外側正之  <i>Phytophthora nicotianae</i>によるニンジン疫病(新称)の発生            ○金城衣恵・植松清次*・景山幸二**・大城忍*** (沖縄防技セ・千葉農林総研暖地*・岐阜大流域研セ**・沖縄南部農改***)</p>	<p>213            葉位別感受性指数によるイネ品種の葉いもちほ場抵抗性の評価            ○石川浩司・黒田智久・佐藤秀明(新潟農総研作物研)</p>
16:36	<p>114            亜リン酸肥料のイチジク疫病に対する発病抑制効果            ○三宅律幸(愛知農総試)</p>	<p>214 座長 児玉基一郎            穂肥窒素およびケイ酸施用による穂いもちの感受性変動            ○塚本昇市・安達直人・吉本玲子*・古賀博則*(石川農研, *石川県立大)</p>
16:48	<p>115  <i>Pythium helicoides</i>によるスズランエリカ根腐病(新称)の発生            ○舟久保太一・景山幸二*・植松清次** (山梨総農技セ・*岐阜大流域研セ・**千葉農林総研暖地)</p>	<p>215            牧草共生菌<i>Epichloëfestucae</i>の共生確立に必要な活性酸素生成酵素の新たな制御因子の単離            ○竹本大吾・Sanjay Saikia*・田中愛子・Ruth Wrenn*・川北一人・Barry Scott* (名大院生農・*Massey Univ.)</p>
17:00	<p>116            沖縄県西表島の河川から分離される<i>Pythium</i>属菌            ○本橋慶一・李明珠・千田昌子・須賀晴久*・景山幸二(岐大流域研セ・*岐大生命セ)</p>	<p>216            ペレニアルライグラス共生菌<i>Epichloëfestucae</i>の植物中での菌糸生育を制御する転写制御因子の同定            ○田中愛子・Sanjay Saikia*・Gemma Cartwright*・竹本大吾・柘植尚志・Barry Scott* (名大院生農・*Massey Univ.)</p>

第3会場	第4会場
<p>309 ○澤田宏之・永井利郎・富岡啓介・青木孝之・佐藤豊三 コロニーダイレクトのマルチプレックスPCRによる4種の植物病原性<i>Rhizobium</i>(=<i>Agrobacterium</i>)属細菌の迅速同定</p>	<p>409 座長 濱本 宏 Reverse transcription loop-mediated isothermal amplification (RT-LAMP) 法によるウリ類退緑黄化ウイルスの検出 ○奥田 充 (九州沖縄農研セ)</p>
<p>310 座長 井上康宏 「こぶ症」を示すリンドウから分離された細菌GI27株の抗血清を用いた免疫組織染色の特異性 ○門田育生 (東北農研)</p>	<p>410 ウリ類退緑黄化ウイルスの組換え外被タンパク質に対する抗血清を用いたウイルスの検出 ○久保田健嗣・奥田 充・行徳 裕*・奈尾雅浩**・斎藤 彰・大貫正俊 (九州沖縄農研・*熊本農研セ・**愛媛農林水研)</p>
<p>311 果実汚斑細菌病菌の花柱感染によるウリ科野菜種子の汚染 ○白川隆・山内智史 (野菜茶研)</p>	<p>411 カンキツに発生するリンゴステムグルーピングウイルスの大腸菌発現タンパク質に対するモノクローナル抗体の作出と酵素結合抗体法への利用 ○草野成夫・岩波徹*・植原謙次**・今村 正**・中平 健**・取井邦明**・田中雅士** (福岡農総試果樹苗木・*果樹研・** (株) ミズホメディー)</p>
<p>312 メロン果実内腐敗病の病原菌である <i>Pantoea ananatis</i> の感染・伝染経路に関する調査. ○木戸一孝*・松本大雪**・瀧川雄一*, ** (*静岡大創造院・**静岡大農)</p>	<p>412 温州萎縮病感染樹における樹体内のウイルス濃度とSDVクロマトによる検出 ○影山智津子・高橋哲也・岩波徹* (静岡農林研果研セ・*農研機構果樹研)</p>
<p>313 ニンジンこぶ病菌 <i>Rhizobacter dauci</i> が培養不能になる要因 ○河原崎秀志* **・後藤正夫*・田渕浩康*・加藤孝太郎*・木嶋利男*・瀧川雄一** *** (*微応研・**静岡大院創造・***静岡大農)</p>	<p>413 座長 津田新哉 産地が異なるタバココナジラミ・バイオタイプ個体群による <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> 媒介特性の比較 ○大西純・松浦昌平*・北村登史雄・寺見文宏・本多健一郎 (野菜茶研・*広島農技セ)</p>
<p>314 座長 中保一浩 新規ファージBGPP-Ar, BGPP-Saによるイネもみ枯細菌病とイネ苗立枯細菌病の発病抑制 ○安達直人・塚本昇市・井上康宏*・畔上耕児* (石川農研・*中央農研)</p>	<p>414 8種アザミウマにおけるアイリスイエロースポットウイルス (IYSV) の虫体内蓄積および媒介 ○井上登志郎*・高山知美・村井保・夏秋知英 (宇都宮大農・*現日本デルモンテ)</p>
<p>315 カスガマイシン・銅水和剤および野生種エンバク (ヘイオーツ) を用いたダイコン黒芯症の防除 ○堀之内勇人・渡辺秀樹・白川 隆* (岐阜農技セ・*野菜茶研)</p>	<p>415 ジャガイモ粉状そうか病菌およびジャガイモモップトップウイルスの数種の植物根部からの検出 (第2報) ○中山尊登・眞岡哲夫 (北海道農研)</p>
<p>316 ウリ科野菜果実汚斑細菌病に対する間欠温湯処理の消毒効果と種子の実用的処理 ○原一見・氷上涼子・島津樹一・白川隆* (ナント種苗・*野菜茶研)</p>	<p>416 <i>Olpidium virulentus</i> 休眠胞子に対する抗体の作製と抗体の反応特性 ○野見山孝司・大崎秀樹・石川浩一 (近中四農研)</p>

■第1日目

3月26日(木)	第1会場	第2会場
17:12	<p>117  <i>Rhizoctonia solani</i> AG 2-2 ⅢBによるインパチエンス立枯病 (病原追加)                      ○佐藤 衛・築尾嘉章・松下陽介 (花き研)</p>	<p>217                      Determinant of pathogenicity of <i>Botrytis cinerea</i> (2) : The role of toxic and infection-inducing compound (s) from spore germination fluid (SGF) .                      ○Khanam, N. N.*, Narusaka, Y.**, Yoshioka, H.***, Toyoda, K*. and Shiraishi, T*. (*Okayama Univ., **RIBS Okayama, ***Nagoya Univ.</p>

第3会場

317

山口県の市場で発生したスイカ果実腐敗症の防除

○井上 興・岡田知子・田中秀平\* (山口県農林総セ, \*山口大農)

第4会場

417

土壌からのチューリップ微斑モザイクウイルス (TMMMV) およびチューリップ条斑ウイルス (TuSV) の検出

○桃井千巳・堀井香織\*・石川浩一\*\*・眞岡哲夫\*\*\*・守川俊幸 (富山農総セ園研・\*砺波農振セ・\*\*近中四農研・\*\*\*北海道農研)

■第2日目

3月27日(金)	第1会場	第2会場
9:00	<p>118 座長 佐藤豊三  <i>Colletotrichum gloeosporioides</i>によるハゴロモ            ジャスミン炭疽病 (新称)            梶谷裕二*・○浦 広幸・石井貴明・景山幸二**            (*現 福岡県病害虫防除所・福岡県農総試病害            虫部・**岐阜大流域研セ)</p>	<p>218 座長 川北一人            紫外光 (UV-B) 照射によるイチゴうどんこ病            の発病抑制機構-1            宇佐見俊行・○神頭武嗣*・小林美郷・雨宮良            幹・松浦克成*・山田真**・石渡正紀** (千葉大            院園・*兵庫県農技総セ・**パナソニック電工)</p>
9:12	<p>119            茶炭疽病菌 (<i>Colletotrichum theae-sinensis</i>) は  <i>Phomopsis</i>属菌か?            ○梶谷裕二・吉岡哲也*・奥田 充** (福岡防除            所・*福岡農総試八女分場・**九州沖縄農研セ)</p>	<p>219            イネ免疫応答におけるOsRac1 (低分子量Gタ            ンパク質) 複合体の解析            ○藤原 正幸・濱田 聡**・深尾 陽一朗・川崎 努*            ・島本 功* (奈良先端大バイオ植物ユニット・            *奈良先端大バイオ島本研)</p>
9:24	<p>120            茨城県で発生するイチゴ炭疽病菌の種類とアゾ            キシストロピン剤耐性菌の発生状況            ○菊地麻里・小河原孝司・宮本拓也・金田真            人・富田恭範 (茨城農総セ園研)</p>	<p>220            イネのPtila interacting kinase1 (Pik1) -Ptila            カスケードはROSシグナルを介して耐病性を            正に制御する            ○松井英謙・山崎宗郎・加星 (岸) 光子・宮尾            安藝雄・高橋章・廣近洋彦 (生物研)</p>
9:36	<p>121 座長 窪田昌春            PCRによるイチゴ炭疽病菌潜在感染株検出方法            の信頼性評価            ○鈴木 健*・田中千華*・伊東靖之*・植松清次*            ・平山喜彦**・岡山健夫** (*千葉農総研・**奈            良農総セ)</p>	<p>221  <i>Nicotiana benthamiana</i>葉とイネ葉において細胞            死を誘導するイネプロテインキナーゼOsPK1            ○齋藤宏昌・伊東明子・吉田佳言・藤澤志津子            ・Matthew Richard Shenton・松村英生・寺内            良平 (生研センター基礎研究推進事業で実施:            岩手生工研)</p>
9:48	<p>122  <i>Colletotrichum gloeosporioides</i>および<i>C. acutatum</i>            の新選択培地の開発            ○植松 清次・望月 ダヌ・田中 千華 (千葉            農林総研暖地)</p>	<p>222 座長 豊田和弘            いもち病菌に感染した抵抗性および罹病性イネ            でのファイトアレキシンの蓄積とその分解            長谷川守文・光原一朗*・瀬尾茂美*・古賀仁一            郎**・岡田憲典***・山根久和***・○大橋祐子*            (茨城大・*生物研*・**明治製菓・***東大)</p>
10:00	<p>123            汚染培土および罹病株クラウンにおけるイチゴ            炭疽病菌の死滅温度条件            ○末永寛子・桐野菜美子・谷名光治 (岡山農試)</p>	<p>223            イネいもち病菌の<math>\alpha</math>-1,3-グルカン蓄積・局在化            に関わるシグナル伝達経路について            ○藤川貴史・阿部敬悦*・西村麻里江 (生物研・            *東北大 未来研)</p>
10:12	<p>124            冷蔵処理によるイチゴ炭疽病潜在感染株の感染            頻度の低減            ○岡山健夫・平山喜彦・松谷幸子・西崎仁博            (奈良農総セ)</p>	<p>224            The calcium-dependent protein kinase (CDPK)            from potato, localizes to the plasma membrane            and activates the signaling of elicitor and            suppressor of <i>Phytophthora infestans</i>            ○Furuichi, N.* ** Kinjo, M. *** and Yokokawa,            K.* (*Fulbright Senior Scientist, **Grad. Sci.            and Tech. Niigata Univ., ***Life Sci. Insti.            Hokkaido Univ.)</p>
10:24	<p>125            子のう胞子によるイチゴ炭疽病 (<i>Glomerella</i>  <i>cingulata</i>) の伝染時期            ○稲田 稔・山口純一郎・古田明子 (佐賀農業            セ)</p>	<p>225  <i>Pythium oligandrum</i>のエリシチ様タンパク質            POD-1、POD-2の複合体によるトマトへの抵抗            性誘導            ○竹中重仁・関口博之・増中 章・井上 豪*            ・高橋英樹** (北海道農研・*大阪大院工・**東            北大院農)</p>

第3会場	第4会場
<p>318 座長 曳地康史 低温によって誘導された青枯病菌viable-but-nonculturable細胞の回復性 ○今崎伊織・中保一浩（中央農研）</p> <p>319 土耕栽培したトマト根部における青枯病菌の感染過程 ○中保一浩・菊原賢次*・井上博喜**（中央農研・*福岡農試・**近中四農研）</p> <p>320 アブラナ科植物黒腐病菌の新規タイプⅢエフェクターの同定 ○古谷綾子・秋本千春・津下誠治*・落合弘和（生物研・*京府大院生命環境）</p> <p>321 イネ白葉枯病菌TypeⅢエフェクターの機能解析 ○山口公志・古谷綾子*・落合弘和*・津下誠治**・島本功・川崎努（奈良先端大バイオ・*生物研・**京府大院生命環境）</p> <p>322 病原性に関与するイネ白葉枯病菌の2つの二成分制御系遺伝子の同定 ○津下誠治・古谷綾子*・落合弘和*（京府大院生命環境・*生物研）</p>	<p>418 座長 海道真典 サブグループⅠとⅡのキュウリモザイクウイルスの2bタンパク質のサイレンシング抑制活性の比較 ○後藤一法・志村華子**・竹下稔*・増田税**（ホクレン・*九大院農・**北大院農）</p> <p>419 キュウリモザイクウイルスサテライトRNAが植物のRNAサイレンシングへ及ぼす影響の解析 ○志村華子・小暮勇樹・増田税（北大院農）</p> <p>420 リンゴクロロティックリーフスポットウイルス（ACLSV）細胞間移行タンパク質（P50）の安定性とRNAサイレンシングサブプレッサー活性の解析 ○八重樫元***・磯貝雅道****・吉川信幸****（*岩手連大・**現, 果樹研リンゴ・**岩手大農）</p> <p>421 シロイヌナズナDicer-like遺伝子の変異がPotato virus X（PVX）の蓄積に及ぼす影響 ○イダ バクス アンディカ・近藤秀樹・鈴木信弘（岡山大資生研）</p> <p>422 RNAサイレンシングとウイルス：一過的RNAサイレンシング誘導におけるイネクロモチラーゼ遺伝子の関与 水津祐一・Chen Hui・宮尾安藝雄*・広近洋彦*・山岡直人・○西口正通（愛媛大農・*生物研）</p>
<p>323 座長 津下誠治 広島県に発生するイネ白葉枯病菌のレースとそれらの遺伝的多様性 世良友美・○奥 尚（県立広島大・生命環境）</p> <p>324 GFP産生イネ白葉枯病菌のイネ葉導管における感染挙動 ○津野和宣・渡辺 亘・長谷川 絵理*・境雅夫**・佐伯雄一・上運天 博（宮崎大農, *現：九大院農, **鹿児島大農）</p> <p>325 <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>campestris</i>における非病原因子AvrXccBの機能解析 ○田村勝徳・高師義幸・塩澤美紀（東大・分生研）</p>	<p>423 座長 大島一里 キュウリ黄化えそ病抵抗性キュウリにおけるメロン黄化えそウイルスの移行性に及ぼす温度の影響について ○杉山充啓・吉岡洋輔・坂田好輝（野菜茶研）</p> <p>424 <i>Red clover necrotic mosaic virus</i>（RCNMV）移行タンパク質（MP）のER局在性は細胞間移行に影響する ○海道真典・築野靖子・三瀬和之・奥野哲郎（京大院農）</p> <p>425 アルストロメリアから分離されたキュウリモザイクウイルスのRNA-1における分節間リコンビネーション 下田恵理・○藤 晋一・藤永真史*・戸田 武・古屋廣光・福本文良**（秋田県大生資・*長野野花試・**中央農研）</p>

■第2日目

3月27日(金)	第1会場	第2会場
10:36	<p>126 イチゴ炭疽病の蔓延を防ぐ新たな垂直型育苗装置の考案 ○奈尾雅浩・安西昭裕・河野靖（愛媛農林水研）</p>	<p>226 酵母抽出液処理によるタバコ立枯病抵抗性は病傷害応答性MAPキナーゼ（WIPK, SIPK）非依存的に誘導される ○焦鋒・瀬尾茂美・中保一浩*・光原一朗（生物研・*中央農研）</p>
10:48	<p>127 座長 築尾嘉章 シンフォリカルポスに発生した実腐病（新称）および灰色かび病（新称） ○菅原敬・松館綾子*・佐藤衛**・生井恒雄*（山形庄内産地研・*山形大農・**花き研）</p>	<p>227 座長 川崎 努 デュアルR-遺伝子システムによる異なる3種の病原体認識機構の解明（その1） ○鳴坂真理***・白須賢***・久保康之****・井内聖*****・小林正智*****・白石友紀**・岩淵雅樹*・鳴坂義弘*（*岡生研・**岡大農・***理研PSC・****京都府大・*****理研BRC）</p>
11:00	<p>128 アイスプラント（<i>Mesembryanthemum crystallium</i>）に発生した灰色かび病 ○前田一行・倉橋良雄・内田秀典*・米山勝美（明大農・*国立ファーム）</p>	<p>228 デュアルR-遺伝子システムによる異なる3種の病原体認識機構の解明（その2） ○鳴坂義弘*・鳴坂真理***・白須賢***・能年義輝***・向原隆文*・白石友紀**・久保康之****・岩淵雅樹*（*岡生研・**岡大農・***理研PSC・****京都府大）</p>
11:12	<p>129 灰色かび病菌の不動精子より分泌される受精毛誘導因子の特徴づけ 福森庸平・○長田誠司・石井伸洋・中島雅己・阿久津克己（茨城大農）</p>	<p>229 抵抗性蛋白質の安定化に必須なSGT1-HSP90複合体の立体構造及び機能解析 ○門田康弘*・Botèr, M., ** Zhang, M., *** Amigues, B., **** Prodromou, C., *** Pearl, L.H., *** Guerois, R., **** 白須賢***（*理研PSC植物免疫・** The Sainsbury Laboratory, John Innes Centre, UK・***Institute of Cancer Research, UK・****SBFM-DBJC, CEA Saclay, FRANCE）</p>
11:24	<p>130 灰色かび病菌の雌性器官の微細構造について ○福森庸平・長田誠司・石井伸洋・中島雅己・阿久津克己（茨城大農）</p>	<p>230 座長 光原一朗 ケミカルバイオロジーによる植物病害抵抗性誘導剤の探索と作用機作解明 ○能年義輝・白須賢（理研PSC植物免疫）</p> <p>231 （キャンセル）</p>
11:36	<p>131 灰色かび病菌の菌核に含まれる不動精子形成誘導因子の特徴づけ 福森庸平・○石井伸洋・長田誠司・中島雅己・阿久津克己（茨城大農）</p>	<p>232 サリチル酸、ジャスモン酸、エチレンのシグナル伝達を司る遺伝子の多重変異体の解析は、植物抵抗性メカニズムにおけるそれらの協調的影響を明らかにした ○津田賢一・佐藤昌直*・Thomas Stoddard・Jane Glazebrook・片桐文章（Univ. of Minnesota・*東大院総合文化）</p>
11:48	<p>132 Pre-emergence damping-off disease of maize caused by <i>Pythium ultimum</i> var. <i>ultimum</i> in Minia, Egypt ○Abdelzaher, H.M.A.（Minia Univ., Egypt）</p>	

第3会場	第4会場
<p>326 Sec14Pはリン脂質代謝を介してNicotiana植物の防御応答を制御する ○木場章範・高橋宏隆*・澤崎達也*・大西浩平**・吉岡博文***・曳地康史（高知大農・*愛媛大無細胞研・**高知大遺伝子・***名大院農）</p> <p>327 スウェーデンで分離された<i>Streptomyces turgidiscabies</i> #65の生産する植物毒素 長潟麻穂・Marja Aittamaa*・Jari P. T. Valkonen*・川出洋・○夏目雅裕（農工大農・*ヘルシンキ大）</p>	<p>426 RNAウイルス間RNA組換えの回避戦略 ○石原岳明・福澤徳穂*・松村 健*・増田 税**（ホクレン・*産総研・**北大院農）</p> <p>427 トバモウイルスRNA複製に関与する因子間の相互作用解析 ○錦織雅樹*・泰中智史**・土肥浩二***・森正之***・岡村英保****・加藤悦子****・飯哲夫*・石川雅之****（*生物研・**北大院農・***石川県立大・****PROBRAIN）</p>
<p>328 座長 相野公孝 生物農薬<i>Trichoderma asperellum</i> SKT-1株のセイヨウナシ輪紋病に対する防除効果 ○本田浩央・尾崎剛一*・橋本尚也*・平澤秀弥（山形農総研セ農生産技試・*クミアイ化学）</p> <p>329 生物農薬<i>Pseudomonas fluorescens</i> G7090剤を利用した体系防除下におけるキャベツ黒腐病菌の動態 ○小木曾秀紀・藤永真史（長野野花試）</p> <p>330 揮発性抗菌物質生産糸状菌<i>Irpex lacteus</i>の抗菌作用機作の解析 ○小板橋基夫・北本宏子・對馬誠也（農環研）</p> <p>331 ハクサイ軟腐病を防除する乳酸菌のハクサイ葉における定着性 ○東山（辻井）みや子・津田和久・小坂能尚・梅村賢司*・三富正明*・辻元人**・久保康之**・片岡光信（京都農資セ・*明治製菓（株）・**京都府大院生環）</p> <p>332 Survival, proliferation of <i>Tichoderma harzianum</i> in Egyptian soil and the role of <i>Trichoderma</i> on the plant growth ○Manal Yasser（Beni Suef University, Egypt.）</p>	<p>428 座長 三瀬和之 クローバ葉脈黄化ウイルスはP1に点変異を生じることにより翻訳開始因子をコードする<i>cyv-2</i>遺伝子によるエンドウ劣性抵抗性を打破する ○中原健二・David Boniface Kashina・邵 軍・西野 計・Sun Hee Choi・上田一郎（北大院農）</p> <p>429 シロイヌナズナにおけるタバコ茎えそウイルス（TRV）によるサイレンシングを利用した効率的な遺伝子スクリーニング法の確立と細胞死関連遺伝子のスクリーニングへの応用 三村由佳子・田中浄・○上中弘典（鳥取大農）</p> <p>430 キュウリモザイクウイルス抵抗性遺伝子<i>RCY1</i>を導入したシロイヌナズナエコタイプDi-17における乾燥ストレス耐性と矮化形態を制御する遺伝子のマッピング ○高橋英樹・Hong-Gu Kang*・Daniel F. Klessig*（東北大院農・*Boyce Thompson Institute, Cornell University）</p> <p>431 N遺伝子タバコの抵抗性を打破するTMV-Obヘリカーゼ領域の発現による発熱誘導 ○高橋 翼*・磯貝雅道**・吉川信幸**（*岩手大COE・**岩手大農）</p> <p>432 タバコマイルドグリーンモザイクウイルス（TMGMV）の非宿主であるトマトには複数の増殖阻害機構が存在する ○石橋和大*・飯 哲夫*・石川雅之***（*生物研、**PROBRAIN）</p>

■第2日目

3月27日(金)	第1会場	第2会場
13:00~ 15:00	ポスター発表	
15:10~ 18:00	課題別シンポジウム 「環境保全型病害防除技術の開発と展望」	課題別シンポジウム 「植物免疫のゲノミクスとポストゲノミクス」

第3会場

ポスター発表

課題別シンポジウム

「温暖化に伴う作物病害発生の変動と課題」

■第3日目

3月28日(土)	第1会場	第2会場
9:00	<p>133 座長 森 充隆  <i>Corynespora cassiicola</i>によるナツハゼ褐斑病                      (新称)                      梶谷裕二*・○石井貴明・浦 広幸・景山幸二**                      (*現 福岡県病害虫防除所・福岡県農総試病害虫部・**岐阜大流域研セ)</p>	<p>233 座長 鳴坂義弘                      発光レポーター法を用いたジャスモン酸誘導性病害応答関連遺伝子プロモーターの特徴付け                      浦田信明・草間勝浩・盤指豪・田中恒之・尾形信一・○平塚和之(横浜国大院・環境情報)</p>
9:12	<p>134                      熱処理によるイチジク株枯病菌の死滅条件                      ○永井裕史(愛知農総試)</p>	<p>234  <i>Nicotiana benthamiana</i>のINF1エリシター応答発光(ERPE)へのNbrbohB(NADPH oxidase)の関与                      ○貫井秀樹・加藤大明*・伊代住浩幸・加藤公彦・川北一人*(静岡農林研・*名大院生農)</p>
9:24	<p>135                      リアルタイムPCR法によるイチジク枝中のイチジク株枯病菌の定量                      ○三好孝典・篠崎 毅(愛媛農水研果研セ)</p>	<p>235                      プライミングされたイネ培養細胞におけるキチンエリシター応答発光の増強へのOsWRKY45の関与                      ○伊代住浩幸・貫井秀樹・加藤公彦(静岡農林研)</p>
9:36	<p>136                      半促成長期どり栽培におけるアスパラガス褐斑病の薬剤散布時期                      ○生咲 巖(香川農試)</p>	<p>236                      イネ培養細胞のエリシター応答発光(ERPE)と過酸化水素との量的相関                      ○加藤公彦・本澤洋江*・伊代住浩幸・貫井秀樹(静岡農林研・*浜松ホトニクス)</p>
9:48	<p>137                      アスパラガス半促成長期どり栽培における褐斑病の総合防除                      ○内川敬介・高田裕司・難波信行・小川恭弘*・松尾和敏(長崎総農林試・*長崎防除所)</p>	<p>237 座長 佐藤 衛                      抵抗性誘導剤及びアブシジン酸生合成阻害剤処理がキュウリ及びトマトうどんこ病の発生に及ぼす影響                      ○三好理・安田美智子*・植草秀敏・仲下英雄*・北宜裕(神奈川農技セ・*理化学研究所基幹研究所)</p>
10:00	<p>138 座長 宍戸雅宏                      汚染土壌からのダイズ黒根腐病菌の検出法の開発                      ○越智 直・仲川晃生(中央農研)</p>	<p>238                      カラスウリに新発生した<i>Oidium</i>属<i>Reticuloidium</i>亜属うどんこ病菌とキュウリに発生する同亜属菌の異同                      ○星 秀男・鍵和田 聡*・佐藤幸生**・難波成任***・堀江博道*** (東京農総研・*法政大生命・**富山県立大・***東大院農)</p>
10:12	<p>139                      レタス地下部や土壌からの分離菌を用いたDNAマーカー検出によるレタス根腐病菌のレース判別                      ○山内智史・白川隆(野菜茶研)</p>	<p>239                      キュウリおよび花卉類等に発生した<i>Oidium</i>属<i>Reticuloidium</i>亜属うどんこ病菌の分子系統群と病原性の差異                      ○鍵和田 聡・星 秀男*・佐藤幸生**・難波成任***・堀江博道*** (法政大生命・*東京農総研・**富山県立大・***東大院農)</p>
10:24	<p>140                      トマト萎凋病菌およびレースのリアルタイムPCR法による特異的検出                      吉岡千津・平野泰志*・對馬誠也**・寺岡 徹・○有江 力(農工大院農・*埼玉農総研・**農環研)</p>	<p>240                      イチゴ品種「エッチェス-138」における黒斑病の発生とその病原菌の分類学的再検討                      ○三澤知央・西川盾士*・栢森美如** (道立道南農試・*サカタのタネ・**檜山農改セ)</p>

第3会場	第4会場
<p>333 座長 佐久間晴彦            MBI-D耐性イネいもち病菌の種子保菌割合が葉いもちの初発生時期に及ぼす影響            ○佐々木直子・猫塚修一（岩手農研）</p> <p>334            MBI-D耐性イネいもち病菌低密度条件下における同系統散布薬剤の防除効果            ○山口純一郎・稲田 稔・古田明子・荒井治喜*・武田敏幸**（佐賀農業セ・*九州沖縄農研・**JA全農営技セ）</p> <p>335            土壌改質材（FFCエース）の育苗培土混和処理がイネ種子伝染性病害の発病に及ぼす影響            ○青木一美・渡邊 健・植田康裕*・長谷川幸子**（茨城農総セ農研・*（株）エフエフシー・ジャパン・**（株）赤塚植物園）</p> <p>336            鉄コーティング種子による育苗期のイネいもち病および直播栽培時のイネばか苗病に対する防除効果            ○井上博喜・竹原利明・宮川久義（近中四農研）</p>	<p>433 座長 森山裕充            W779株で見いだされたdsRNAを感染させた白紋羽病菌における菌糸間でのdsRNAの移行及び病原力への影響            ○佐々木厚子・中村仁・吉田幸二・島根孝典・兼松聡子*（果樹研, *果樹研リンゴ）</p> <p>434            W779ウイルス、W958ウイルスの白紋羽病菌に対する感染と病原力低下            ○兼松聡子・尾上真理・佐々木厚子*・伊藤伝（果樹研リンゴ・果樹研）</p> <p>435            白紋羽病菌の単子のう胞子後代における細胞質不和合性因子の解析. (I).帯線形成に関わる因子の同定            ○池田健一*・濱中大輝**・大田達郎**・中村 仁***・兼松聡子***・朴杓允**（*神戸大先端融合研究環, **神戸大農学研究科, ***果樹研究所）</p> <p>436            ハイポウイルスの多機能性蛋白質p29により誘発されたマイコレオウイルスのゲノム再編成株            田中 徹・孫麗英・○鈴木信弘（岡山大資生研）</p>
<p>337 座長 荒井治喜            タラロマイセス フラバスを用いたイネ種子伝染性病害の生物防除 (2)-温湯消毒との併用効果-            ○能城こずえ・千田茂樹・岩上直子・藤晋一*・石川成寿**（出光興産・*秋田県大生資・**栃木農試）</p> <p>338            新規殺菌剤イソチアニル（ルーチン®）に関する研究-第3報 イソチアニル処理によるイネ病害抵抗性関連酵素の誘導活性変化            ○久池井豊・新木康夫・佐久間晴彦（バイエルクロップサイエンス結城中央研究所）</p> <p>339            茨城県におけるボスカリド剤耐性キュウリうどんこ病菌の発生            ○宮本拓也・石井英夫*・富田恭範・小河原孝司（茨城農総セ園研・*農環研）</p>	<p>437 座長 西口正道            弱毒キュウリモザイクウイルス（CMV）のウイルス干渉効果以外の作用について            ○佐山春樹・高柳直幸・小湊正幸・新子泰規・井上登志郎（日本デルモンテ研究開発本部）</p> <p>438            L<sub>1</sub>遺伝子を打破するトウガラシマイルドモットルウイルス病原型P<sub>1,2,3,4</sub>に対する弱毒株の干渉効果            ○佐々木 純・堀田 治邦・神田絢美*・津田新哉*（道立中央農試・*中央農研）</p> <p>439            トウガラシマイルドモットルウイルス弱毒株の干渉効果と農家圃場での経済性評価            ○神田絢美・久保田健嗣*・山崎修一**・藤澤一郎***・津田新哉（中央農研・*九沖農研・**大分農林セ安全研・***鯉淵学園）</p>
<p>340 座長 石川成寿            酵母抽出液処理によるトマトかきよう病および葉かび病の発病抑制効果の検討            ○菊原賢次・中保一浩*（福岡農総試・*中央農研）</p>	<p>440 座長 宇垣正志            ローリングサークル型増幅法（RCA）を介した2種ベゴモウイルスの感染性クローン構築            ○大貫正俊・上田重文・安藤緑樹*・河野伸二**（九州沖縄農研__*沖縄防技セ八重山駐在__**沖縄農研）</p>

■第3日目

3月28日(土)	第1会場	第2会場
10:36	<p>141  <i>Fusarium oxysporum</i>のbud-cell形成数に影響を及ぼすポテトデキストロース培地の成分の同定            ○横田 健治・寺岡 拓真・澤里 優・鈴木 啓史*・村上 圭一*・三輪 睿太郎・樋口 恭子 (東京農大生応化・*三重農研)</p>	<p>241            ブーバルジア暗斑病 (新称) の発生            ○竹内 純・鍵和田 聡*・小野 剛**・難波成任***・堀江博道*** (東京島しょ大島・*法政大生命・**東京農総研・***東大院農)</p>
10:48	<p>142            PCR法によるナスすすかび病菌の特異的検出法の確立            ○岡 久美子***・赤松 創***・望月 知史**・大木 理**・草刈 眞一*・岡田 清嗣* (*大阪府環農総研・**大阪府大院生環・***国際農研)</p>	<p>242            ブドウ房枯病の伝染経路に関する一考察            ○井上幸次*・桐野菜美子*・那須英夫** (*岡山農試・**全農おかやま)</p>
11:00	<p>143 座長 伊藤 伝  <i>Nemania sp.</i>によるリンゴ萎縮病 (新称)            ○浅利正義・佐野輝男* (秋田農技セ果試・*弘前大農生)</p>	<p>243 座長 植松清次            土壌から分離した1担子菌のセルロース分解力            ○渡邊恒雄・菅野 学・田川雅弘・玉木秀幸・花田 智 (産総研)</p>
11:12	<p>144            りんご樹に発生したさび色萎縮病 (新称)            ○岩波靖彦・中村仁*・近藤賢一・飯島章彦 (長野果試・*果樹研)</p>	<p>244            クリーピングベントグラスに発生したドレクスレラ葉枯病 (新称)            ○早川敏広・月星隆雄*・米山勝美**・田村季実子***・矢口重治・小林真樹・佐々木伸浩 ((株)理研グリーン・*畜産草地研・**明治大農・***農環研)</p>
11:24	<p>145            中国大陸及び台湾におけるナシ黒星病菌のレース分布            ○石井英夫・西村久美子・Dong Yafeng*・Chung Wen-Hsin**・Li Jiarui***・Shang Hui***・Shi Chunxi****・田辺賢二*****・埋橋志穂美 (農環研・*遼寧省果樹研・**国立中興大・***雲南省農環資研・****西北農林科技大・*****鳥取大農)</p>	<p>245  <i>Plectosporium tabacinum</i>によるキク苗腐敗病            ○築尾嘉章・佐藤衛・松下陽介・住友克彦 (花き研)</p>
11:36	<p>146            モモ枝から分離した<i>Ellisembia sp.</i>のモモ果実に対する病原性            ○森本涼子・菅野英二*・足立嘉彦**・中村 仁*** (和歌山農総技セ果樹試かき・もも研・*福島農総セ果研・**東北農研・***果樹研)</p>	<p>246  <i>Neoscytalidium dimidiatum</i> (Penzig) Crous &amp; Slippers [<i>Fusicoccum dimidiatum</i> (Penzig) D.F. Farr] によるピタヤ (ドラゴンフルーツ) 乾腐病 (新称)            ○佐藤豊三・伴 さやか*・廣岡裕吏**・米本仁巳***・大藤泰雄***・河辺邦正***・小沢 聖*** (生物研・*NBRC・**USDA-ARS・***JIRCAS)</p>
11:48	<p>147            モモ果実赤点病の伝染源と分生孢子飛散消長            ○菅野英二・藤田剛輝・尾形 正 (福島農総セ果研)</p>	<p>247            クリ胴枯病菌の細胞学的核型解析と染色体数の訂正            ○多賀正節・Ana Eusebio-Cope*・Hamid Sadeghi-Garmaroodi・鈴木信弘* (岡山大院自然科学・*岡山大資生研)</p>
12:00		

第3会場	第4会場
<p>341 ナス台木への接ぎ木によるトマトかいよう病および萎凋病の防除の可能性 ○岩間俊太・今井照規・齋藤雅人・後藤敏美*・桑田博隆・門田育生**（青森農林総研・*上北農林普及・**東北農研）</p> <p>342 育苗時のケイ酸質資材施用によるイチゴうどんこ病の発生抑制効果と収量への影響 ○山岸菜穂・山下亨*・江口直樹・武田和男（長野南信試・長野県農事試験場*）</p> <p>343 Deoxynivalenol (DON) 分解細菌からのDON分解酵素遺伝子の探索 ○伊藤通浩・佐藤優花里・佐藤育男・生長陽子・小坂橋基夫・對馬誠也（農環研）</p>	<p>441 トマト黄化葉巻病抵抗性品種が伝染源になる可能性 ○江口武志・森山美穂・行徳裕（熊本農研セ）</p> <p>442 遺伝子組換えによるTYLCV抵抗性付与の試み ○山口博隆・斎藤新・大山暁男・布目司・宮武宏治・福岡浩之（野菜茶研）</p> <p>443 Tomato yellow leaf curl virusに対するタバココナジラミGroELタンパク質発現組換え N. benthamianaの応答 佐々木園子・○池上正人・Edelbaum,D*・Gorovits,R*・Czosnek,H.*（東北大院農・*ヘブライ大）</p>
<p>344 座長 小木曾秀紀 ネギ黒腐菌核病に対する土壌くん蒸剤の防除効果と本菌の土壌中における分布 ○小河原孝司・富田恭範・金田真人・小堀智史*（茨城農総セ園研・*元茨城農総セ園研）</p> <p>345 キュウリホモブシス根腐病防除を対象としたクオルピクリンくん蒸剤のマルチ畦内処理効果の評価 ○岩館康哉・山口貴之・山田修*・猫塚修一（岩手農研・*岩手県庁）（神戸大院農学研究科）</p> <p>346 カラシナの土壌混和条件がハウレンソウ萎凋病の防除効果に及ぼす影響 ○前川和正・福嶋 昭（兵庫農総セ）</p>	<p>444 座長 石川雅之 コムギ2DL染色体上のSSRマーカーの多型とコムギ縮萎病抵抗性との関係 ○西尾善太・早田暁世・田引 正・伊藤美環子・山内宏昭（北海道農研）</p> <p>445 Capsicum属植物トバモウイルス抵抗性遺伝子L<sup>3</sup>のクローニングと関連シグナル因子の解析 ○坂本 勝・富田麗子・村井 淳*・鈴木一実**・木場章範***・曳地康史***・小林括平（岩手生工研・*現、大阪府成人病セ研・**滋賀県大環境・***高知大農）</p> <p>446 トバモウイルスとCapsicum属植物L抵抗性遺伝子との階層的相互作用の遺伝子的基盤 ○富田麗子・坂本 勝・村井 淳*・鈴木一実**・木場章範***・曳地康史***・小林括平（岩手生工研・*現、大阪府成人病セ研・**滋賀県大環境・***高知大農）</p>
<p>347 座長 石井英夫 希少糖の植物への作用（9）:D-Allose処理によるHXK依存シグナル伝達を介したイネのジベレリン反応の抑制 ○福元健志・大谷耕平・加野彰人・白川智景・何森健・田島茂行・重松由夫*・小原敏明*・石田豊**・五味剣二・秋光和也（香川大農・*三共アグロ・**四国総合研）</p> <p>348 希少糖の病害防除への応用（2）:D-Tagatoseのキュウリべと病に対する防除効果と作用機構 ○小原敏明・玉川靖・重松由夫・秋光和也*・田島茂行*・何森健*・石田豊**・田中啓司（三共アグロ・*香川大農・**四国総合研）</p>	<p>447 Nicotiana sylvestrisから得られたCapsicum属植物L抵抗性遺伝子に相同なCC-NBS-LRR抵抗性タンパク質遺伝子 ○小林括平・富田麗子・坂本 勝・竹内繁治*・木場章範**・曳地康史**（岩手生工研・*高知農技セ・**高知大農）</p>

■第3日目

3月28日(土)	第1会場	第2会場
12 : 12		
13 : 00～ 15 : 00	ポスター発表	
15 : 00～ 17 : 00	市民シンポジウム	

第3会場	第4会場
<p>349  希少糖の病害防除への応用（3）希少糖のキュウリべと病に対する防除効果の分子機構  ○大谷耕平・小原敏明*・福元健志・田島茂行・何森健・五味剣二・秋光和也（香川大学農・*三共アグロ）</p>	
<p>ポスター発表</p>	
<p>市民シンポジウム</p>	